(3) 二次関数
(4) 指数関数・対数関数
(5) データの分析
(6) 場合の数と確率

3　内容の取扱い

(1) 指導に当たっては，第２章第４節第２款の第１の「数学Ⅰ」，第２の「数学Ⅱ」，第３の「数学Ⅲ」及び第４の「数学Ａ」の内容等を参照し，必要に応じて，これらの科目の内容を発展，拡充させて取り扱うものとする。

(2) 内容の取扱いに当たっては，次の事項に配慮するものとする。

ア　内容の(1)については，「数学Ⅰ」の内容の(1)に加えて，ユークリッドの互除法や二進法も扱うこと。

イ　内容の(2)については，「数学Ⅰ」の内容の(2)及び「数学Ａ」の内容の(1)を扱うこと。

ウ　内容の(3)については，「数学Ⅰ」の内容の(3)及び「数学Ⅲ」の内容の(1)のアの(ｳ)及び(ｴ)，イの(ｲ)を扱うこと。

エ　内容の(4)については，「数学Ⅱ」の内容の(3)を扱うこと。

オ　内容の(5)については，「数学Ⅰ」の内容の(4)を扱うこと。

カ　内容の(6)については，「数学Ａ」の内容の(2)を扱うこと。

第２　理数数学Ⅱ

1　目　標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 数学における基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深めるとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能に習熟するようにする。

(2) 事象を数学的に捉え，論理的・統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を伸ばす。

(3) 数学のよさを認識し，数学を積極的に活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，事象を数学的に探究しようとする態度を養う。

2　内　容

１に示す資質・能力を身に付けることができるよう，次の〔指導項目〕を指導する。

〔指導項目〕

(1) いろいろな式
(2) 数列
(3) 三角関数と複素数平面
(4) 図形と方程式
(5) 極限
(6) 微分法
(7) 積分法
(8) 統計的な推測

3　内容の取扱い

(1) 指導に当たっては，第２章第４節第２款の第２の「数学Ⅱ」，第３の「数学Ⅲ」，第５の「数学Ｂ」及び第６の「数学Ｃ」の内容等を参照し，必要に応じて，これらの科目の内容を発展，拡充させて取り扱うものとする。

(2) 内容の取扱いに当たっては，次の事項に配慮するものとする。

ア　内容の(1)については，「数学Ⅱ」の内容の(1)に加えて，最大公約数及び最小公倍数も扱うこと。

イ　内容の(2)については，「数学Ｂ」の内容の(1)を扱うこと。

ウ　内容の(3)については，「数学Ⅱ」の内容の(4)及び「数学Ｃ」の内容の(2)のアの(ｴ)(ｵ)及びイの(ｲ)とそれらの活用を扱うこと。

エ　内容の(4)については，「数学Ⅱ」の内容の(2)及び「数学Ｃ」の内容の(2)のアの(ｱ)(ｲ)(ｳ)及びイの(ｱ)とそれらの活用に加えて，円と円の共有点を求めることも扱うこと。

オ　内容の(5)については，「数学Ⅲ」の内容の(1)のアの(ｱ)(ｲ)(ｵ)及びイの(ｱ)(ｳ)を扱うこと。

カ　内容の(6)については，「数学Ⅱ」の内容の(5)のアの(ｱ)(ｲ)及びイの(ｱ)(ｲ)，「数学Ⅲ」の内容の(2)を扱うこと。

キ　内容の(7)については，「数学Ⅱ」の内容の(5)のアの(ｳ)及びイの(ｳ)，「数学Ⅲ」の内容の(3)に加えて，$\frac{dy}{dx} = ky$　(kは定数)　程度の簡単な微分方程式の意味と解法も扱うこと。

ク　内容の(8)については，「数学Ｂ」の内容の(2)を扱うこと。

第３　理数数学特論

1　目　標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，探究するために必

第明治三十三種郵便物認可